

令和 6 年度事業報告書 <グループホーム白楽荘みくにの里>

テーマ：ICT導入による職員育成と働きやすい職場作りをめざした効果的な利用者支援

サブテーマ：科学的介護（LIFE）活用により、自立支援・重度化防止を重視した質の高いサービスの推進

1. 人としての尊厳を守り、入居者への安心・安全・快適な暮らしを提供

- ①利用者一人ひとりの生活習慣を尊重し、その人らしい生活を送れるようサポートできた。また、日々のミーティングで利用者の体調、行動について職員間で共有し、特性を把握することに努めた。
- ②入居者の安全確保する、見守りセンサーの導入居室を検討し、リスクの高い入居者の安全確保に努めた。

2. 緊急時の対応、感染症の対策、自然災害の備えなど、チーム全員が命を守る行動が出来る

- ①緊急時の対応や災害時の避難訓練を年に2回行うことができた。また、停電時に備え、各居室にセンサーライトを設置した。ライトが気になる方の居室以外、10居室で平常時から使用し、夜間起床時の安全につながった。
- ②感染症対策では発生時の対応の確認を全職員が行い、知識、対応力の向上に努めた。
また、職員がコロナ感染時も利用者に感染することはなかった（利用者の感染者ゼロ）。

3. 共生社会の一員として健全に職務従事するため、職員の資質向上を目指す

- ①チーム職員のストレスケアを図る為、業務の見直し、改善や有休休暇の取得を行うことができた。
また、面談を通して職員の気持ちの確認を行ったが、職員の長期休職により新規利用者の受け入れが難しくなり、稼働率低下に繋がった。
- ②職員が研修参加し、知識、技術、認知所ケアの専門性を高めて自己成長ができるよう職場の雰囲気作りを行った。